

《担当者名》 教授 / 會田 英紀aita@ 准教授 / 広瀬 由紀人yukito@ 講師 / 仲西 康裕nakanisi@
 助教 / 仲西 和代kdontics@ 助教 / 山中 大寛masahiro-y@
 非常勤講師 / 秋馬 秀成 非常勤講師 / 前田 幸宏 非常勤講師 / 石川 昌洋
 非常勤講師 / 松原 秀樹 非常勤講師 / 加々見 寛行 非常勤講師 / 高島 成悟
 非常勤講師 / 松本 弘幸 非常勤講師 / 神田 秀治 非常勤講師 / 野坂 明寛
 非常勤講師 / 國安 宏哉 非常勤講師 / 兼田 陽介 非常勤講師 / 越智 真理
 非常勤講師 / 田村 直 非常勤講師 / 高薄 紀男 非常勤講師 / 仲井 太心
 非常勤講師 / 五十嵐 隆 非常勤講師 / 坂本 太郎 非常勤講師 / 高野 勝光
 非常勤講師 / 小林 秀樹 非常勤講師 / 西 一幸 非常勤講師 / 笹本 洋平
 非常勤講師 / 北所 弘行 非常勤講師 / 國分 明広

【概要】

講義で理解した歯冠補綴治療をマルチメディアによる臨床シミュレーション実習の環境下で、歯冠補綴臨床で最も基本的な手技となる少歯欠損症例に適応されるブリッジの製作を行うことで補綴診療で必要な器具・材料の使用法を理解し、基本手技を習得する。

また、少数から多数歯欠損まで適応される口腔インプラント治療を行う際の基本手技を習得する。その際、人間の顎咬合機能を理解するために半調節性咬合器の仕組みと使用法について理解する。さらに、患者の口腔内を想定したシミュレーション顎模型を使用して、支台歯形成及び暫間被覆冠の製作を習得する。光学印象方を体験し手技や特性を習得する。

【学修目標】

正常な歯冠形態や口腔機能・顎運動に関する基礎知識を説明する。

固定性補綴診療における一連の基本的診療術式を説明する。

固定性補綴診療における一連の基本的技工操作を説明する。

固定性補綴診療における一連の基本的診療術式を実施する。

固定性補綴診療における一連の基本的技工操作を実施する。

各種歯科材料の特性を説明する。

各種歯科材料を適切な取り扱いを実施する。

半調節性咬合器の取り扱いを実施する。顎運動に関する基礎知識を説明する。

口腔インプラント診療における一連の基本的診療術式を説明する。

口腔インプラント診療における一連の基本的技工操作を説明する。

光学印象の特性を理解し術式を実施する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	作業用模型の咬合器装着	支台歯と支台装置とポンティク 5 : 生活歯に4/5冠 7 : 生活歯にプロキシマルハーフクラウン 6 : 離底型ポンティックをしたブリッジを作成する。 6 7 間はろう着法で連結固定を行う。 作業用模型を咬合器装着する。 F-3-4)-(2) , , , , ,	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
2	フェイスボウトランスマーカー 半調節性咬合器の操作	フェイスボウを使用して半調節性咬合器プロアーチ 咬合器 EGにフェイスボウトランスマーカーを行う。チェックバイトを採得し半調節性咬合器の調節操作をする。カスタムインサイザルテーブルを製作し切歯路を理解する。 手順をレポート作成する。 F-3-4)-(2) , , , , ,	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
3	ろう着法・咬合面コアの採得 光学印象実習	メタルコーピングの特徴を口腔内試適調整後、印象用石膏を使用して咬合面コアを採得する。空き時間に光学印象法を実施する。 光学印象法についてレポート作成する。 F-3-4)-(2) , , , , ,	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
4	ろう着法・埋没光学印象実習	咬合面コアのから金属を石膏系石英埋没材に埋没ゴニアーネスに係留する。空き時間に光学印象法を実施する。 F-3-4)-(2) , , , , ,	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
5	ろう着法・ろう着光学印象実習 ブリッジ口腔内試適・装着	パラろうを使用してろう着操作を行う。空き時間に光学印象法を実施する。サンドブラスト、酸処理を行う。研磨完成したブリッジを口腔内試適する。 手順をレポート作製する。 F-3-4)-(2) , , , , ,	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
6	インプラント診断用模型の製作	診断用模型の製作 インプラント診断用模型を咬合器装着し欠損部に診断用ワックアップを行い複印象を行う。 F-3-4)-(4)	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
7	インプラント診断用テンプレート・外科用テンプレートの製作	複印象により得られた石膏模型に熱可塑性樹脂シートを圧接し診断用テンプレートを製作する。その後、外科用テンプレートに改造する。 製作手順をレポート作製する。 F-3-4)-(4)	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
8	インプラント診断	パララマエックス線像をトレースして解剖学的構造物を理解し、拡大率を測定する。CT検査得られた画像より解剖学的構造物を理解する。インプラント埋入シミュレーションソフトでの実際を示す。 F-3-4)-(4)	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
9	インプラント埋入実習	インプラント実習用模型に外科用テンプレートを使用し、インプラント体の埋入を行う（ボーンレベル、ティッシュレベルの2種類）。 手順をレポート作製する。 F-3-4)-(4)	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
10	インプラントの印象採得 インプラント作業用模型製作	印象用トランスファーコーピングを用いて、オーブントレー法及びクローズトレー法を個人トレーとシリコーンゴム印象材で実施する。ガムシリコーン付作業用模型を製作し咬合器装着する。この模型は5年生の臨床実習で使用するため紛失してはいけない。 F-3-4)-(4)	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
11	支台歯形成および暫間被覆冠の製作	6 の全部鋳造冠に対する支台歯形成をエターピンで実施する。その後暫間被覆冠を常温重合レジンで製作する。 F-3-4)-(1)	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
12	支台歯形成および暫間被覆冠の製作	1 の前装冠に対する支台歯形成をエターピンで実施する。その後暫間被覆冠を既製樹脂冠を使用して製作する。 F-3-4)-(1)	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
13	支台歯形成および暫間被覆冠の製作	5 のCAD/CAM冠に対する支台歯形成をエターピンで実施する。その後暫間被覆冠を既製樹脂冠を使用して製作する。 F-3-4)-(1)	會田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			山中 大寛 非常勤講師
14	支台歯形成および暫間被覆冠の製作	1 6 の全部鋳造冠に対する支台歯形成をエアーピンで実施する。その後暫間被覆冠を常温重合レジンで製作する。 1 の前装冠に対する支台歯形成をエアーピンで実施する。その後暫間被覆冠を既製樹脂冠を使用して製作する。 F-3-4)-(1)	曾田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師
15	支台歯形成および暫間被覆冠の試験	1 6 の全部鋳造冠に対する支台歯形成をエアーピンで実施する。その後暫間被覆冠を常温重合レジンで製作する。規定時間で試験を実施作品を評価する。 1 の前装冠に対する支台歯形成をエアーピンで実施する。その後暫間被覆冠を既製樹脂冠を使用して製作する。規定時間で試験を実施作品を評価する。 F-3-4)-(1)	曾田 英紀 広瀬 由紀人 仲西 康裕 仲西 和代 山中 大寛 非常勤講師

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

固定性補綴学実習（後期）

各課題に小テスト（15%）、平常点（15%）、レポート（30%）を加味し、作品の出来（40%）を評価する。最終的には合計で60%以上を合格とする。

固定性補綴学（後期）/ 橋義歯補綴学

[橋義歯補綴学（講義）評価方法] 橋義歯補綴学中間試験（50%）、橋義歯補綴学定期試験（50%）

・中間試験と定期試験の評価の合計点が60%以上で合格と判定する。

・[橋義歯補綴学（実習）評価方法] 実習の項目を参照

[判定方法] 講義と実習を同等に評価し、それぞれが60%以上を合格とする。

固定性補綴学としての通年評価

前期と後期を同等に扱い、60点以上を合格とする。

【教科書】

「クラウンブリッジテクニック第2版」三浦宏之 ほか 編 医歯薬出版株式会社

「クラウンブリッジ補綴学実習」 北海道医療大学歯学部 クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野 キサツ

「口腔インプラント学実習書第2版」公益社団法人 日本口腔インプラント学会 編 永末書店

【参考書】

「クラウンブリッジ補綴学第6版」矢谷博文ほか編 医歯薬出版株式会社

【学修の準備】

指定した教科書の該当ページを事前に読み、疑問点を整理する（15分）。

実習開始時に前回までの講義・実習内容に係る小テストが実施されるので復習する（15分）。

受講する前に各学習項目の実習範囲を予習しておくこと（予習：30分、復習：30分）。

・実習を休むと大幅に進行が遅れますので体調管理に気を付ける。

・清潔な白衣を着用すること。医療人として相応しい身だしなみで実習に臨む。

・実習室へは白色の上履きを履くこと。白色以外上履きでの実習室への入室は認められない。

・実習器材は毎回確実に準備すること。実習器材が不足すると実習を進行することはできない。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。

（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。

（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との

研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。

(科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢)

DP 4. 多職種(保健、医療、福祉、介護)と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。

(多職種連携能力)

【実務経験】

《歯科医師》會田 英紀、広瀬 由紀人、仲西 康裕、仲西 和代、山中 大寛、秋馬 秀成、前田 幸宏、石川 昌洋、
松原 秀樹、加々見 寛行、高島 成悟、松本 弘幸、神田 秀治、野坂 明寛、國安 宏哉、兼田 陽介、越智 真理、田村 直、高薄
紀男、仲井 太心、五十嵐 隆、坂本 太郎、高野 勝光、小林 秀樹、西 一幸、笹本 洋平、北所 弘行、國分 明広

【実務経験を活かした教育内容】

固定性補綴学は、歯質の欠損を機能的、形態的回復を通じて、患者の生活の質の向上につながる学問である。開業医、勤務医として実務に携わる臨床経験10年以上歯科医師で、博士(歯学)の学位もしくは補綴歯科学会専門医資格の有する者が非常勤講師として歯冠補綴学診療における患者対応・注意事項について教育を行っている

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している